

防災・減災そして地域に密着した行政サービスの提供について、質問・提案をしてみました。

台風被害のいわき市 断水解消

台風19号の影響で最大約4万5400戸が断水したいわき市は27日、すべての断水エリアで通水し、14日ぶりに全域で解消したと発表した。

断水の主な原因は、夏井川の堤防決壊で平浄水場が浸水し、電気設備などが水没して運転を停止したこと。市内最大の浄水場のため、広い範囲で断水した。平浄水場は、設備の交換などで応急復旧し、21日から浄水処理を再開。浄水場近くから通水して徐々に断水を解消した。

断水が長引いたことで、台風の浸水被害を受けた家屋の片付けも遅れた。会見した清水市長は、「断水で片付けなどに支障をきたした。お詫言います」と謝罪。浄水場の浸水対策で、水密扉の導入、機器の高出場所への移転などを検討するとしている。

(二部抜粋)



平成31年2月定例会で質問。

一般質問

西山一美
Kazumi Nishiyama



水道施設発電設備のバックアップについて

緊急時に対応するための水道施設発電設備等のバックアップや設備の点検なども、普段からの備えが重要であると思います。より一層の対応をお願いしたいと思います。

水道施設発電設備のバックアップについて、再質問いたします。取水の要である浄水場などのバックアップ体制については、非常時に水系間を相互融通する基幹浄水場連絡管整備事業のほかに、どのようなものを進めているのか伺います。

水道局長 平浄水場など、本市の基幹浄水場5施設につきましては、非常用自家発電を設置している施設が1施設、変電所から浄水場への受電回

平成29年11月定例会 防災行政無線の内陸部への設置について

震災後、台風や津波など自然災害に対する備えから、沿岸部に多く設置されていること。そして、好間町、大田地区においては、主に地滑り災害に対する情報伝達を目的として設置されたことはわかりました。そこで、今後、今回のような事態に備え、内陸部にも防災行政無線を設置していく考えはあるのか伺います。

【答弁】本市の広域で起伏に富んだ地勢に置いて、市内全域に屋外拡張り局を設置することは、膨大な費用を要することから、市では平成26年度に戸別受信機を公共施設などに整備するとともに、平成27年度に防災ラジオを11

00台購入し、自主防災組織の代表者や民生・児童委員を対象に配布したところであり、災害時の情報を迅速に伝達しております。

【答弁】小・中学校には、校内放送用の設備が整備されており、また、その他の公共施設にも館内用の放送設備があると思いますが、このような公共施設の放送設備の活用について伺います。

平成28年2月定例会

「本庁機能の明確化」について

行政サービスを受けるべき地域の皆様は、課題・要望について、市民相談担当や地域振興担当員等がワンストップで対応するようなシステムは構築できないか。平支所を本庁機能と区別して再設置することについて、どのよう

【答弁】平支所の設置につきましては、現在の支所が担っている機能のうち、まちづくり活動支援機能の配置によって、地域の実情を踏まえた、よりきめ細かい対応が期待できるなど、一定の効果が見込まれる面があるものと考えております。しかしながら、市民窓口機能及び事業執行機能につきましては、専門性を有する本庁機関が対応することにより、これまで質の高いサービスを効率的に提供できていたところから、平地区を対象とした機能配置のあり方につきま



調査・研究して参りたいと考えております。

生活道路の改修・改良工事などのインフラ整備は、大変重要と考え、地域の要望が実現できるように日々活動しています。



あとかき
Afterword

被災された皆様のために議員は何ができるのか。今回行われた県議選では、台風災害に対して様々な指摘や批判そして情報提供をSNSなどを通じて発信した候補も見られました。選挙が終わり本市への災害関連予算の獲得や災害箇所の早期復旧の実現など、誰が公約通り言行一致で活動を進めていくのか注視したいと思います。私たち市議会議員も同じです。耳に心地の良い言葉を発するのは簡単ですが、求められているのは「安全・安心」への施策をしっかりと前に進めていくことです。市民の皆様の代弁者としての真価が問われています。

西山かずみ
プロフィール
昭和34年9月13日
(いわき市平生まれ)

- 公益財団法人ときわ会 常磐病院 評議員
- 学校法人志向学園 かなや幼稚園 理事
- いわきバレーボール協会 顧問
- 中神谷スポーツ少年団 顧問

経歴

国立福島高専機械工学科卒
アルプス電気(株)東京本社入社
「タウン情報いわき」の(株)アドプラン入社
ときわ会グループ(株)シグマ入社
29才で総合広告代理店(株)デップを起業